

中小企業連携促進基礎調査

ラオス国 代かき機・耕耘爪の生産及びASEAN域内販売可能性調査

企業・サイト概要

- 提案企業：松山株式会社を含む共同企業体
- 代表企業所在地：長野県上田市
- サイト：ラオス国チャムパサック県



ラオス国の開発課題

- 農作業の機械化導入⇒農業生産性向上⇒農家所得の増加という好循環形成による貧困問題の撲滅
- 上記によって得られた農業労働力の余剰分を他の産業へシフトし、製造業などの育成を促すことで、バランスのとれたラオスの産業構造構築への布石が打てる。

中小企業の製品・技術

- 高耐久性、かつ収量増につながる碎土性、均ぺい性、すき込み性の優れたロータリ、代かき機等の製造・販売
- この他にも日本の厳しい農家ニーズに応じてきた作業効率アップに資する多様な製品群

日本の中小企業の事業戦略

- 輸出市場開拓、とくにコメ輸出国世界1位のタイ、3位のベトナム市場を抱えるASEAN地域をターゲット
- ラオスは、東西回廊、南北回廊の結節点にあり、ベースインフラも整備されつつある。この優位性を活用して製造拠点を設け域内の市場開拓を行う。

中小企業の事業展開を通じて期待される開発効果

- ラオス国内での稲作を主体とした機械化進展による農業生産性の向上、農家所得向上への寄与
- ラオスからASEAN域内への輸出を企図することでの外貨獲得効果
- 製造拠点を設けることによる、生産要素技術移転に伴う製造業(モノづくり)の能力向上、規模は小さいながらも現地雇用者の直接的所得効果